常磐毎日
発行所
平市田町75番地
電話 平市 南(代表) 2104—2105番

無災害工場決る

八十余万時間記録清水建設

最優秀賞に呉羽化学

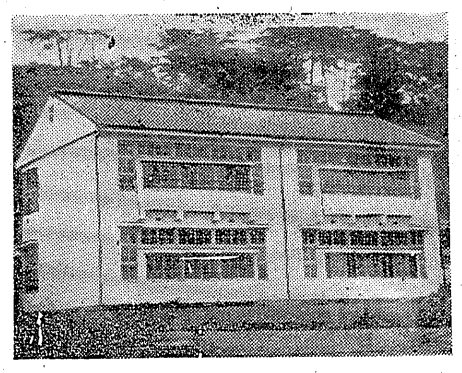
平労基署では七月一日から第三十五回全国安全週間にちなんで同署管内の各工場の功労従業員をはじめ無災害工場など表彰することになった。無災害の最優秀評点賞には呉羽化学工業KK錦工場の薬務課、また最高無災害記録時間数賞には八十二万二千七百五十六時間を樹立した清水建設KK土木鮫川建設事務所（所長石塚林一氏）と最高無災害記録日数賞には一万四千五百八十八日を記録した平市の株式会社加地和組（社長川和徳一氏）などを表彰することになった。この日二十九の無災害の工場などを表彰するほか功労者に平労基協会長賞と二十九の無災害の工場などを表彰する事業体と団体は次の通り。

◇署長賞

平田紡績KK福島工場（磐城）▽常磐運送KK（〃）発工業所（〃）▽磐城運輸（〃）▽磐城運輸KK（内郷）ユタカ建設KK平出張所（平）五十鈴記録KK（勿来）

◇同協会長賞

▽優秀事業体功労者、▽平、蛭田正行（佐藤鉄工所）大谷清（磐城運輸）佐藤利男（加地和組）▽磐城貨物自動車）▽白鉄富蔵（東北電力）鈴木吉平（水鉄平貨物車区）三瓶忠（同平機関区）橋本誠一（東北ネジ製造）▽蛭田直正（福島建築）佐藤金治（大阪造船所）▽磐城ほん田祐介（新日ほん化学工業）▽馬上昇（小名浜工機）伊藤為衛（専売公社小名浜）八鍬勝見（小名浜運送）▽星野正平（日ほん水素）▽佐保（同）吉田末太郎（日星製作所）▽丹野磐巳（丸洪運送店）▽宮内忠吾（小名浜臨港）▽常磐、斉藤信（しな川白鉄）▽坂内義雄（常磐炭礦製作所）▽なとり、大河内一郎（菊田運輸）▽大平好英（錦興業）▽大沼貞助（福田興業）▽鷲良介（呉羽化学）▽大浦孫（同）小沢実（呉羽化成）▽四倉、松本一太郎（磐城セメント）



◇無災害記録賞

▽最優秀評点賞、（呉羽化学錦工場薬務課）▽最高無災害記録時間数賞、清水建設KK土木鮫川建設所（所長石塚林一氏）▽最高無災害記録日数賞、KK加地和組（社長川和徳一氏）▽優秀評点賞、磐城運輸（内郷、湯本整備工場、なとり支店、江名営業所、小川郷鉱業所）東北電力平営業所（受電部、配電部）呉羽化学（総務課、工作課、機動課）呉羽化成（紡績課）千葉タイヤ商会、磐城シャモット（耐瓦製造所、門井組（磐城）勝呂組倉出張所、片倉工業平工場、片野工業所、塩原製袋工場、平活版所、日本水素（酸素課、検査課、計測課）常磐炭礦（鉱物工場）

老母首を吊って自殺

二十七日二前十時ごろ田人村南大平字高松二二、無職小野シモさん（六）は自宅奥の竹林にある柿の木に自分の腰ひもで首のりして死んでいるのを孫の小野タマ子さん（三）が発見、勿来署に届けた。同署の調べでは神経衰弱と見ている。

南太平洋漁場視察団

木村代議士　シドニーから

十六日羽田空港を発った木村代議士一行は、同日香港啓市内を視察、更にシドニーに飛び道路、都市計画と教育面を視察し明けて、南方諸国の日本製品の状況をみ、二十二日十一時四十五分トンガ国に着いた。ここで八日間滞在、漁業関係の打合せ及び交渉を行なうもので、七月二日から四日まではパビートに滞在、漁場視察と打合わせを行なうものである。その間本社宛に次のような南方便りを送ってきた。

×　×

羽田がジェット機BOACで三千二百キロメートルを四時間十六分、ホンコンからは四発大型のコワンタスで八百キロメートルを一時間二十分、マニラから二万二千フィートの上空を二千八百五十キロメートル飛んで七時間二十分でニューギニアのポートモレスビーに着く。雷気で凄い稲妻が足もとの方から追いかけるように光らす。エア・ポケットも多く曲揺も甚だしい明の六時頃のポート・モレスビーは涼風が吹いている。

戦争末期のニューギニアの想出とは違う。それもこの地は南緯十度の赤道直下である。それに南半球は秋から冬である。飛行場には明朝六時と云うのに土人が沢山裸体で腰のまわりに布切れを巻いただけで思われる娘の国に入れ墨をした者など四十人程集まっていた。

ホートモレスビーからシドニーまでは二千キロメートルあり約五時間を要する。シドニーに着いて驚いた。体験の感がつよ実は南国に行くのだからというので夏服でなく冬服とオーバーである。

この地は草木は紅葉を終り落葉の候である。数多くプラタナスの葉は縮れて落ちている。ホテルの室には電気ストーブがついている。今くの冬仕度である。それでも夏服では寒い。シドニーは南緯二千五百で東京は北緯二千五百と南北の差はあるが、寒暖の度合は同じである。今は初冬というところである。それに前日ホンコンでは朝四時前から明るくなり午後八時迄太陽が明るく照る日が続いた。

戦争末期のニューギニアの想出とは違う。それもこの地は南めかけている。乗客の方では珍しい土人の姿を見ようとして窓りを取りまく。どちらが見物かわからない。見たり見られたり。子供を五人もつれているのや、若いまだ、十二、三歳位と思われる娘の国に入れ墨をしたバナマ帽子をかぶって得意然としてオーストラリアに乗りこんだのだから、いくら心臓でも照れくさくなった。今頃バナマ帽をかぐわかにも行かず本物の珍客としてホテル・オーストラリアに案内された。

この地は草木は紅葉を終り落葉の候である。数多くプラタナスの葉は縮れて落ちている。ホテルの室には電気ストーブがついている。今くの冬仕度である。それでも夏服では寒い。シドニーは南緯二千五百で東京は北緯二千五百と南北の差はあるが、寒暖の度合は同じである。今は初冬というところである。それに前日ホンコンでは朝四時前から明るくなり午後八時迄太陽が明るく照る日が続いた。

同じ地球上で、しかも一月行程でこれ程違うものかと驚かざるを得ない。丁度、今日は日曜日である。オーストラリアは労働時間が週四十時間、土曜、日曜は完全休業である。店舗という店舗はどこも休みでかく門を閉じている。電車の走るのも見えず、時折りタクシーが走る。極めて閑静な街の姿である。

（つづく）

強心蔵でもテレる

真冬の南国にパナマ帽

追予原案を可決

安藤公銅像再建

平市議会終る

平市議会最終日の昨夜二十八日、したが、結局は助成することに決定した。次いで人権擁護委員に金成キミさん（六）を推薦した。午後からは中野磯吉氏議員から磐城土建が請負施工していたが二千三百校舎が完成した。

この校舎は建坪四百六十八・六平方メートルの総二階建で四教室のもの、同校ではあす二十九日午前十時から市制合併十周年記念かねて予定した追加予算六千一万円を同校に寄付し、ピアノ一台、セロ二台、テンバニー一組など音楽の備品を購入したのをはじめ給食の施設を設けた。

（写真は完成した新校舎）

平市議会は昨夕、市制合併十周年記念の式典を挙行することになったが、これは県下初めてのものである。

組合競輪売上六千万円

石城競輪組合主催の六月平競輪は二十七日で終ったが六日間の総売り上げはボーナス期であっただけに五千九百七十九万五千円という好成績を収めた。都節は三千一百六十一万二千三百円、後節は三千一百六十八万二千七百円、なお後節四日目八百七十六万八千二百円、五日目九百七十一万九百円、六日目八百七万三千六百円だった。穴は五日目九レースB級選抜勝戦で5—6、一万八千二百円が出た。

割烹 花 四町 電話四六八

豪雨の各地被害調べ

水田の冠水二百ヘクタール

石城郡下の田畑の被害は正午現在で二百二十三ヘクタールに及んでいる。地区別にみると内郷が三十五ヘクタール、四倉が三十ヘクタール、好間五ヘクタールのほか、平市の冠水状況は市農林水産課の調べによると二十八日二前九時現在で田七十八ヘクタール、畑七十二ヘクタールに上っている。そこで冠水被害を大きく受けたのは菅野原沼、六十枚、夏井、山崎、岩田四、下平市の冠水状況は市農林水産課の調べによると二十八日二前九時現在で田七十八ヘクタール、畑七十二ヘクタールに上っている。そこで冠水被害を大きく受けたのは菅野原沼、六十枚、夏井、山崎、岩田四、下五（いずれもヘクタール）という大被害地区である。これは田畑はいずれも沼田と化して稲の苗などは首まで水にひたっている。地区別では田畑を含めて内郷一、高久十一、夏井五十五、飯野五、神谷三十一、平窪八、赤井四、菅野三十五（いずれもヘクタール）という状況という。

豪雨災害に備え

県水防演習勿来市で行う

笠島県連合水防演習は明後三十日七月一日の二日間勿来市鮫川の鮫川橋下流（但鮫川橋付近）で行なう。その具体的な演習方法が決まった。

三十日は勿来、遠野、田人の消防団員約百五十人に県の柿野技師が演習の指導に当り、七月一日午前九時から開始される本演習に備えるもの。二日目の二日は県下の消防団員と関係者が出席、実地演習を行なうが二の大がかりな行事に参加する関係者は二千名をこすことになっている。演習はむしろ張工、大流工川倉工、土張樋工、月の輪工の五箇所にわたって行なわれ、洪水時を想定しての災害を防ぐ一切の演習を演習するわけ。なお二の日の夕刻市内は演習のための消防サイレンと半鐘を鳴らすことになっている。

あす落成式挙行

平第六小　合併十周年記念かね

平第六小学校（小林正人校長、児童四百八十八人）では昨年十二月に総工費四百二十三万余を投じて磐城土建が請負施工していたが二千三百校舎が完成した。

この校舎は建坪四百六十八・六平方メートルの総二階建で四教室のもの、同校ではあす二十九日午前十時から市制合併十周年記念かねて予定した追加予算六千一万円を同校に寄付し、ピアノ一台、セロ二台、テンバニー一組など音楽の備品を購入したのをはじめ給食の施設を設けた。

（写真は完成した新校舎）

常磐線列車も混乱

海上には異状ない

藤原川増水で警戒中

集中豪雨による増水のため常磐線は二十八日朝五時、手代木ミサ子さん宅はか二十戸が床下浸水した。▽平一夏井川の県道、小川町字高崎地内にかけ崩れ一カ所約二千立方メートル。

沢渡村で消防団員出動

三十日防火委員会総会

平市防火委員会（山崎覇助委員長）総会は三十日午後一時から、市役所で開催。昨年度事業と収支決算承認、本年度予算などを審議する。

幼児溺死

誤って川に落ち

二十七日二前十時半ごろ好間村大字小川字三、大利第一発電所主任菊田良隆さんの三男調君（三）が排水作業に当った。▽四倉町

十三名が重軽傷

人夫の車溝に突込む

未熟運転手スピード出して

勿来市で人夫十二人を乗せた小型トラックが横転、十三人が重軽傷を負うという交通事故が発生した。二十七日午後四時三十分ごろ好間村槻現営、土建業鈴木組＝鈴木彦辺彦一運転手＝が常磐共同火力発電所の小型トラック＝渡辺彦一運転手＝が常磐共同火力発電所の人夫十二名を乗せ、勿来市植田字金山地内の国道でスピードを出しすぎたためハンドルをとられ、国道左側の下水溝に車輪を突込み、車は右向転して横転した。このため荷台に乗っていた十一人が放り出され四名がひん死の重傷、五名が重傷、四名が軽傷を負い勿来市興羽病院に収容された。

▼重傷＝▽伊藤シズエ（三三）常磐市三函▽伊藤ハナヨ（六五）内郷市白水字入山▽菊田キミノ（三二）内郷市八仙▽冷水常夫（二八）好間村槻現営▽斉藤正七（三五）同▽安達郁之助（三五）好間村槻木水字川平

▼軽傷＝▽伊藤ミヨ（三三）常磐市三函▽伊藤ハナヨ（六五）内郷市白水字入山▽菊田キミノ（三二）内郷市八仙▽冷水常夫（二八）好間村槻現営▽斉藤正七（三五）同▽安達郁之助（三五）好間村槻木水字川平

警察対抗剣柔道大会

原町一位、個人（吉田機部）

第四回浜通り警察剣柔道大会は二十七日午前十時から磐城市小名浜一中講堂に参加選六十名剣道六十名柔道三百余名が出場、盛況裡に終了した。